

時事新報

我日本は海國なり 在ポーストン某生

我日本國は四面海にして太平洋の一隅に孤立する海國なり世界に海國多しと雖も四方全く海にして然らざる其文明の度半開以上進み人口繁茂して社會の仕租稍整然たるものは西洋に在ては英國、東洋に在ては我が日本國の兩國あるのみ固より日英の文明、幾段の前後ありと雖も其人情風俗に於て自から異なる所少ならずと雖も已に其地理を齊して二つながら海國なる以上は有形の物理上その國の經濟と軍備との二個條に於ても亦自から形迹を同ふざるべからざるものあり固より同じ海國なればとて氣候の寒暖地味の肥瘠等に依て産する所の物は必ずしも一様ある可らずと雖も海國は自から其地面に際限あるが故に文明次第に進み人口歳々増加する時は到底農産物不足を生じ自國の食物を以て自國の人民を養ふに足らず必ず其供給を他の大陸國に需むざるべからざるの勢となるは海國に於て免かる可らざるの數なり今日の英國にても現に小麦の供給を露西亞、亞米利加等の大陸國に仰ぐを視て之を知るべし左れば我が日本國に於ても後來必ず食物の供給を支那印度等の大陸國に仰ぐの時節到来す可きや論を俟たず然るも經濟の理に於て他國より物を買ふ時は必ず之に對して自國の物を賣らざるべからず物を賣らざるは物を買はんとするは恰も種を下さずして苗を生ずるを望むに等しく到底望むべき事柄にあらざれば則ち海國の人民は何物を賣りて養民の料を他國に需むべきやと論ぬるも凡そ人間の爲すべき事業は千差萬別殆ど無限なりと雖も之を大別すれば農工商の三外ならず農たれば工たり工たれば商たるの他も手段あるべからずと雖も限あるの土地を以て限あるの人口を養ふとは到底海國に在て出來べからざるを以て富國の策を謀らんとするも萬々行はるべき事ならずと云はざるを得ず已に農事を以て國策を立つるの目的なしとせば工商の中其孰れか我國相も適するものを選び以て後來の計をきざらざるべからずと雖も其工を爲りて製造の業を起すと甚だ容易ならず假令へ國民は製造適當の性質ありて其工たるの資格に乏しからざると雖も唯無形の性質のみを依頼して實際その製造の用に供す可き材料を自國に生ずるも非ざれば以て製造國たる可らず羊毛、棉花、鐵等の如きは即ち製造の材料として自ら之を生じて自ら之を製造するもあらざれば其の工國たるに難なるべし後來我國に於て果して此材料を生ずるの目的ありや若し其目的あらざれば工を以て國を立つるの見込ありと云はざるべからず或人の説に假令へ自ら其材料を生ずるの便なきも他國に之を頼むるの道あれば敢て工國たるも差支ある可しとの言われ共材料の供給を他國に仰ぐ唯之を製造するのみを業と執るときは利益自ら多からず、利益多からざれば世界の市場に他と競争するを得ずして結局立國永遠の策と爲すに足らざるや明かり彼の英國の如き北米又は印度の地方より製造の材料たる棉花を輸入し之をマンチエスナイフに於て製造するの實例なきにあらずと雖も其以前亞米利加又は印度地方の人民が未だ製造の業を起すの實力に乏く唯農産物を輸出するを以て本業とせし時の事にて今日の勢、綿布製造の業は棉花産出の地方よりマンチエスナイフの製造も漸く衰へてポンペー、

カルカッタに同事業の起らんとするあり現に今日我國は輸入する唐糸の如きも印度製のもの居多ありと云ふ材料の産出、製造の繁榮兩者の離る可らざるを以て祝るべきなり然るに英國は在ては今日文明の基本とも云ふべき鐵製造の材料に乏からずして善良の鐵は全國に散布し又その鐵を溶解するも必用なる石灰を其鐵鑛に同じ場所を生ずる等實に稀有の天幸を兼得するが故に製造國たるの地位を後來も維持するも可しと雖も我日本國中には此種の天幸あるを聞かず然らば則ち後來製造の業を以て我を立てんとするの策も亦難しと云ふべし我國の國相已に農たるを得ず又工たるの資格なきものとすれば後來經濟の策は唯一の商業あるのみと斷定せざるべからず抑も商の事たるや自ら物産するにあらざると之を製するにあらざれば其買主主東の間に立て雙方の便益を謀り寒國の物産を暖國に送り東の物を西に賣り所謂無相通するの媒介を以て業とするものあるが故に其國土の廣さを要せず其國に物を産するを要せず唯商國たるも必用あるは國の位地海國にして海路四通の衝に當り人民航海の術を熟達して自ら航海の事を專にするも在るのみ抑も我國の位地たるや東は亞米利加の大洲を面し西は支那帝國の大陸に接し右に文明國ありて左に半開國を控へ恰も天然商國たるの位置にあるものあれば買主買主の間に媒介して其有無を通ずるに至極便利の國柄と云ふべし左れば我後來の國策は唯運輸通商を以て目的となし我國を世界の商國となし恰も西洋の英國を東洋の一隅に創始して旭日の徽章を東西の間輝かすべきなり斯く云へば言少く空談に似たれども世界萬國古來の實跡と今日の現狀とを熟考するときは必ずしも其空ならざるを知るべし往古埃及亞歷山港の繁昌より中古威尼期里斯本、馬德里、安特衛普、又近世に至ては英の倫敦、米の紐約の如き全く海運通商の便を依るものより自ら其物産するもあらざると之を生ずるにあらざれば唯無交換の媒介たるに依て此富を來せしものあり又、我國の今日商國たるに最も適當の時機到来せりと云ふべき所以のものあり即ち南北の亞米利加を接續する巴那馬の地峽を開闢して太平洋と大西洋との水を通ずるの工業將に成就せんとする此事あり前年蘇西海峽の開けてより以來天下通商の航路遂に一變して今日復た喜望峯を迂迴する者なく従て古來世界海運の中心となりて東西の通商を専有したる倫敦は稍其繁榮を失ひ地中海沿岸の諸港却て中心とせんとするの勢あるが如し故に巴那馬の海峽一度開く時は今日通商の航路復た一變して我橫濱港が東西通商の中心とさる太平洋の汽船は勿論總て亞米利加より東洋に來るものは先づ我橫濱に寄港して支那印度等市場の模様を考へ又東洋より亞米利加へ行くものも我橫濱を寄港するの便を知り横濱は恰も世界通商の集結たるべしと豫期するも敢て狂者の空想と云ふべからず商權の擴張今日の時機失す可らざるなり (以下次號)

官報

第三回内閣勸業博覽會出品主心得 緒言 第三回内閣勸業博覽會出品は學理、技術、經濟の三要より成るものあり其各部類品種に因り此三つの要點を皆含むものあり又は其内の二つを兼ね或は一つの性質に出る者もあり固より一様ならずと雖も凡そ此三要は出品物の製作、組立に於て最も欠べからざるの基礎として徒らに觀美、巧緻を貪り又は輕薄なる考へをもちて着實ならざる粗大の物や造り實用に適應せざるの類は本會の望む所もあらざるゆゑ能く此主旨を辨へ務て實益に着目すべし要するに本會への出品物は何品に限らず前に述べたる三要を據り専ら其本を立つるを以て肝要ありとす 出品は部類を分ち無數の品物を一つの場所に集め部類に從ひ府縣順て之を陳列し混雜の患を防ぎ比較對照の便を與へ出品主をして各自自ら拵らへたる品物の善惡損徳を一目の下り知り意匠、技術を問はし勉めて意を實益に注がしめんとするにあり 出品は之を七部に別け即ち第一部(工業)は之を十六類に分ち概ね加工既成の物品を陳列するの區にして直に使用し得らるべきものに限れり 第二部(美術)は之を五類に分ち其列品は總て工藝を成り秀麗、高雅にして美術の巧妙を顯はし意匠、知識、技術及新機軸の四者に基けるものに限れり 第三部(農業山林及園藝)は之を十類に分ち農業山林は經濟を以て主要とし園藝は人意を娛樂せしむるものなるを以て美術の應用より成りたる草木器物及園庭を造る道具に限れり 第四部(水産)は之を五類に分ち水産業の盛衰を較へ其術の巧みあるか拙きかを審りしに實益を適切なるもの之主とす 第五部(教育及學藝)は之を三類に分ち有形、無形共其學術を奨め又之を適用し及經濟運用法書書等なり 第六部(礦業及冶金術)は之を三類に分ち礦業の原質及其掘採練和に關するものとす 第七部(機械)は之を十五類に分ち機械の功用を示し努力を省くの便を知らしむるの助けを以て汽力、水力、人力等を以て運轉すべきものとす是れ部類分けの大略として委しき區別は本年八月當局告示第三號就て見るべし 凡そ物品は宜く時勢の變遷を量り現今及將來の需用に適するを以て主眼とすべし其形形色合ひ紋柄の如何用途の如何を考へず濫りに奇體あるものを作り又は珍らしき事をのみ求めて後々續かぬ如きものは農産工作を問はず出陳に要なきなり且つ諸品中是迄は必要なるも最早今日では不用となりしもの又は今日有用なるも後には不用とあるべき者もあり又時勢を量り今より措らへ創め又は故法を考へ直して大又時に堪へ固有の術を擴充して愈進歩せしむべきものもありて素より一定し難しと雖も要するに學理、技術を應用専用し勉めて經濟に適するを主とし内國は勿論遠く海外に販路を弘め現今將來の需用に適せしむるを以て專一とするに在り若し精密巧妙たぐひ稀れある物を造らんと欲せば飽まで考案を凝らし手術を盡し其技術を顯さざるべからず輕忽に手を下し無用の長物を製せば獨り本會の望みも背くのみならず出品主の不名譽ともなる事ゆゑよく心得置くべきなり 凡そ第五部に屬する商工業の方法施設即ち仕組仕方及其の成績を顯す等の出品は他の部類に出陳する貨物真象とは固より其趣を異し今や商工業の業日を開進せんとし人心既に之に向ひ頻に資本を卸して其事業の振ひ作る機軸むる時に際し其方法、施設の優劣を比較し得失を鑑別して遂に其妙用を知るに至らば無形の方案は有形物を動かして他の部類の出品は其真法の爲め後日其指揮の問に愉快なる有様を觀るのみならずあるべし故に常に考案を盡し既に實施せる仕方、仕組等陳列して品評を求むるときは農商工業の改良を促し進歩を誘ふの益たるも亦多しなり 出品主は其要點を奉るも過すも雖も凡そ品物の真偽の何たるを論なく學理、技術、經濟の三要を達するものはならず苟も此三要を舍き無用の長物を製作出品するも於ては決して製造の廢棄を求むるべし能はず故に出品主は専ら意を之に注ぎ時勢を察し内外に鑑み以て本會の概

刀劍買入所

刀劍小道具具足馬具諸道具類金銀飾物種々高價一申 三丁目一番地 弘聚社



日曜祭日 除ク外毎日正午ヨリ保險申込人ノ體格検査 珍チナス但保險規則へ端書ニテ御申越次 日本橋區橋本町六番地角 有限會社 命不檢會社

大坂の御旅宿 北區中之嶋公園地 御宿料定銀一金三十五錢二金五十五 銀三金七十五錢四金一圓右四通り外 御好に應ず又西洋泊は内國人に限金 一圓五十錢 自由亭 洗心館

本會開設の概 類別を告示 第三回内閣勸業博覽會出品主心得 明治廿一年十一月 第一條 賣買 第二條 賣買 第三條 賣買